

横浜教育ビジョン

～「教育のまち・横浜」の実現を目指す10年構想～



平成18年10月
横浜市教育委員会

横浜教育ビジョン策定にあたって

近年の社会情勢の変化に伴い、教育に求められるものはより広範かつ本質的になっています。規範意識や公共心の向上、子どもの学力や体力の低下に対する懸念、教職員の資質向上など様々な課題が顕在化しています。

国においては、引き続き教育基本法改正に向けた審議が行われるほか、新たに「教育再生会議」が発足するなど、今や教育問題への対応が国民的な課題となっています。

横浜市教育委員会では、平成16年7月「これからの横浜における教育のあり方と改革の方向性」を諮問するため、横浜教育改革会議を設置しました。そして、約2年間に渡る議論の結果として「横浜教育改革会議最終答申」をいただきました。

今回、この最終答申と、教育現場や市民からの意見を参考にしながら議論を重ね、この「横浜教育ビジョン」を策定しました。

「横浜教育ビジョン」は、「横浜市基本構想（長期ビジョン）」の都市像の実現に向け、「教育」が果たしている普遍的な役割に加え、横浜が目指す「人づくり」の観点から、“横浜の子ども”を育むうえで大切にすべき基本、目標、取組方針などを、分かりやすくまとめたものです。

この「横浜教育ビジョン」を基に、将来の横浜を担う子どもたちが夢や目標を見出し、それぞれの実現に向け様々なことを学び、幾多の困難な状況においても自らの課題を乗り越えてくれることを期待しています。

そして、子どもたちが健やか、かつたくましい「市民」として成長していくことができるよう、学校・家庭・地域が一体となって「教育のまち・横浜」の実現に向けて進みながら、“横浜の子ども”を育てていきたいと思います。

平成18年10月

横浜市教育委員会

委員長	今田 忠彦
委員長職務代理委員	日浦 美智江
委員	鈴木 節夫
委員	義家 弘介
委員	吉備 カヨ
委員兼教育長	押尾 賢一

【 目 次 】

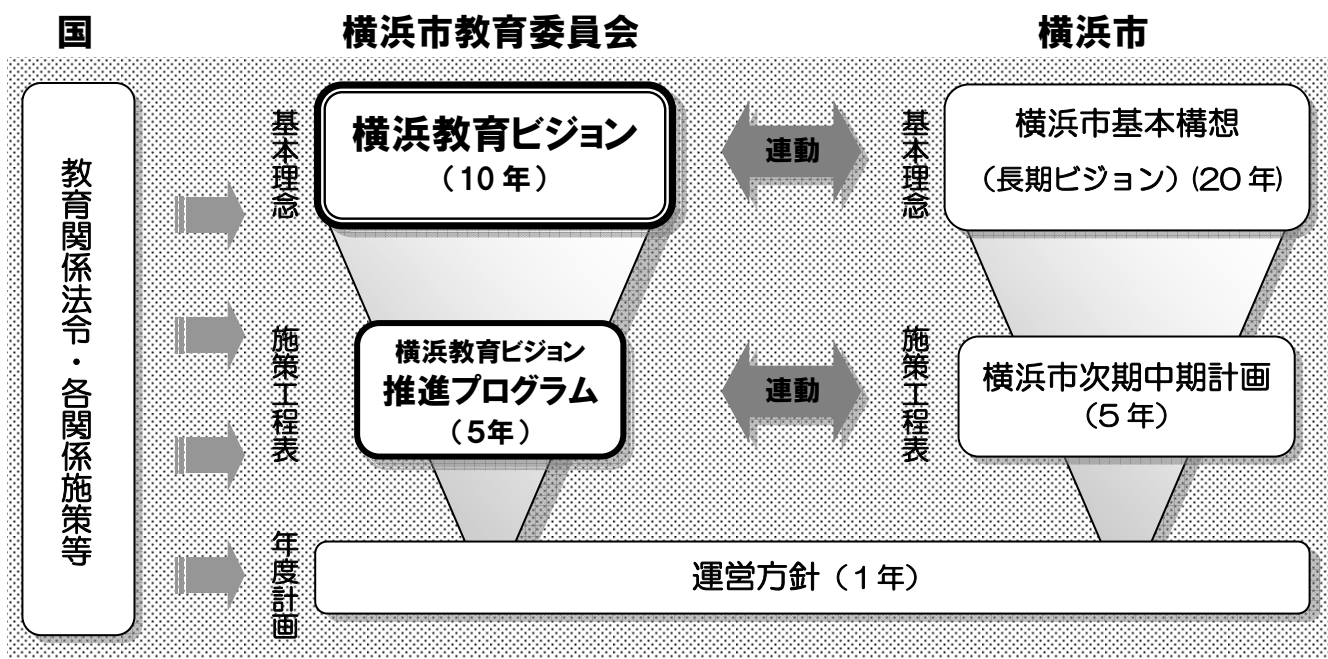
1	教育の使命と横浜の教育が目指すもの	1
2	5つの目標と7つの基本的方針	3

[参考資料]

○	「5つの目標と7つの基本的方針」と「重点的政策」の相関図	6
○	「横浜教育ビジョン」と「横浜市基本構想(長期ビジョン)」との関係	7
○	これまでの教育プランとの関係	8



横浜教育ビジョンの関係図



1 教育の使命と横浜の教育が目指すもの

[1] 教育の使命

教育の使命は、子どもたちの**確かな学力と豊かな心、健やかな体**を育むことで、人格の完成を目指し、**社会を担う者としての資質を身に付けた「市民」を育成**することにあります。さらに、先人が築き上げたものを大切にしつつ**新たな挑戦をしていく姿勢**、自らが幸せに生きるとともに**他者の幸せにも寄与しようとする姿勢**を育むことも重要な使命です。

[2] 横浜が目指す「人づくり」と学校教育において身に付ける力

「横浜市基本構想(長期ビジョン)」が示す、平和や人権の尊重を基調とした都市像「**市民力と創造力により新しい『横浜らしさ』を生み出す都市**」の実現に向けて、教育分野の責務は「**人づくり**」です。横浜では、社会の一員として国や社会を良くしていこうとする気概や、正しい勤労観、奉仕の心などを持って、自らの人生を切り拓き、創り上げることができる「**市民力・創造力**」を兼ね備えた**未来を担う『市民』**の育成を目指します。

そのため横浜の教育では、「幅広い知識と教養」、「豊かな情操と道徳心」、「健やかな体」という「**3つの基本(知・徳・体)**」と、「公共心と社会参画意識」「国際社会に寄与する開かれた心」という「**2つの横浜らしさ(公・開)**」を最も大切に、「**横浜の子ども**」を育てていきます。

学校教育においては、豊かな心、規範意識・公共心、協働・共生などを重視し、教えるべきことをしっかり教えます。これにより、次の3つの力を引き出し、「**自ら考え、判断・行動し、激動の時代を生き抜く総合的な力**」を身に付けていきます。

- ◆ 学ぶ楽しさと創り出す喜びを原動力に、夢や希望に向けて努力する力
- ◆ お互いの違いを認識したうえで、協働・共生する力
- ◆ 進取の精神と多様性を認める柔軟さをもち、変化する社会を生き抜く力

[3] 「教育のまち・横浜」宣言

未来を担うのは子どもたちであり、**教育は横浜の未来を創り出す原動力**です。

横浜では、「**教育のまち・横浜**」を目指すことを宣言し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体で横浜の子どもを育み、横浜らしい人づくりを進めていきます。そして、教育の使命をまちぐるみで共有し、世界で活躍できる人づくりに向けて、市民一人ひとりが教育にかかわる楽しさと豊かさを実感できる教育環境を実現していきます。

「市民力・創造力」を兼ね備えた「市民」に向けて育つ “横浜の子ども”とは

基本

徳

【基本2】豊かな情操と道德心

礼儀や規律を重んじ、家族を大切にし、
他者を思いやり、相手の人格を尊重して
行動します

- いつもきちんとあいさつができ、感謝の気持ちを忘れずに「ありがとう」が言えます
- 友人を大切にし、親や目上の人、先人を敬います
- 物事の善悪をきちんと判断し、正義を重んじ、正直に生き、また辛抱と我慢を学びます
- 個人の尊厳、人権の尊重、権利と義務、自由と責任を正しく理解します

知

【基本1】幅広い知識と教養

学ぶ楽しさと創り出す喜びを通じて
自らの可能性と人生を切り拓きます

- 人の話を素直に聞き、課題解決に向けねばり強くやりとげます
- 分からないことや困難なことにもあきらめずに挑戦します
- 興味と関心を広げ、積極的に学び続けます

体

【基本3】健やかな体

自分や他者の生命や体を尊び、
自らの健やかな体をつくります

- 早寝早起きをし、朝ご飯をきちんと食べ、規則正しい生活を守ります
- 食生活の大切さを理解し、健康でたくましい体をつくります
- 自分や人の生命と体を大切にします

横浜らしさ

公

公共心と社会参画意識

横浜を愛し、積極的に社会にかかわり、
貢献します

- 小さなことでも、社会の役に立つために行動します
- 社会の一員として求められる姿勢や資質を身に付けます
- 地域社会や横浜、さらには日本のために、自らができることを考え、実践します

開

国際社会に寄与する開かれた心

日本の伝統や文化を尊重しながら、
国際社会の発展に貢献します

- 日本と世界の社会や歴史、文化を積極的に学び、違いや共通点を理解します
- 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げます
- 地球環境を守るためにすべきことを考え、実践します



2 5つの目標と7つの基本的方針

“横浜の子ども”を育むために

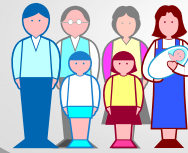
学校



【役割】

- 子どもの学力・体力・心(道徳心・公共心等)を育成
- 確かな目標設定を行い、取組を推進

家庭



【役割】

- 生活習慣の定着の第一義的役割
- 地域等との連携・協働により、家庭での教育力を向上

【目標1】

子どもの力を高めます

方針1

自ら考え判断し行動できる総合的な力を育む教育を目指します

方針2

しっかり教えしっかりと引き出す指導を徹底します

【目標2】

学校・教職員の力を高めます

方針3

誇りや使命感に満ちた信頼される教職員を確保・育成します

方針4

マネジメント能力の向上により学校の“チーム力”を高めます



目指すべき
“横浜の子ども”



【目標5】

教育行政は現場主義に徹します

方針7

教育行政は“現場主義”で保護者・地域の期待に応えます

【目標4】

家庭、そして地域の教育力を高めます

方針6

家庭・地域・学校が連携し、子どもの成長を支えます

【目標3】

学校を開きます

方針5

学校を開き自律・分権・地域参画型の多様な学校を目指します

行政



【役割】

- 教育行政組織の再編整備による学校支援体制づくり
- 求める教員像を明確にし、優れた教員の確保・育成

地域



【役割】

- 地域・事業者等の貢献や連携・協働
- 子どもの手本となるなど、地域での教育力を向上
- 新たな地域力の結集(“おやじ”力の向上など)

目標1 子どもの力を高めます

方針1 自ら考え判断し行動できる総合的な力を育む教育を目指します

学校は、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくために、社会参加する上で欠かせない**規範意識**や**公共心**を身に付け、自分の心や体を大切にし、お互いを認め合いながら、**自ら考え判断し行動できる力**を育みます。また、子ども一人ひとりが自分の「思い」や「考え」を持ったうえで、「夢」や「目標」を見だし、それらを実現していくことの喜びを発見できるような教育を行います。

方針2 しっかり教えしっかり引き出す指導を徹底します

教育を担う教職員は、子ども一人ひとりを大切にします。そして、一人ひとりの実態を把握し、適切な指導を行います。教職員は子どもが身に付けるべきことは**しっかり教え**、未来に向かって生きようとする子どもの**学習意欲**や**良いところ**、**可能性**、**能力**を引き出す**指導を徹底**します。

また、教員は、子どもと向き合う一人の「ひと」として自律や規律を重んじ、教えることにたゆまぬ努力をしながら、**充実した授業づくり**を目指していきます。

目標2 学校・教職員の力を高めます

方針3 誇りや使命感に満ちた信頼される教職員を確保・育成します

教育委員会は、求める教員像を明確に示し、新たな教員養成や多様な採用形態を整備するとともに、教員の授業力・指導力の向上や、豊かな人権感覚を高めるなど、優れた教員を確保・育成していきます。また、教職員の**意欲・能力・実績**などを評価し、**教職員の志気**を高める**制度の整備**を行い、横浜の教職員であることの魅力を高めます。

方針4 マネジメント能力の向上により学校の“チーム力”を高めます

学校は、保護者・地域に開かれた存在として、地域の特性に応じた主体的な教育活動を推進するため、**校長の責任と権限のもと**、**自主・自律的な学校運営**を行っていきます。

また、教職員一人ひとりの持つ力量が存分に発揮され、チームとして組織的な学校運営を進めるために、地域が備えている力を引き出しながら、**教職員全体のマネジメント能力**を高めていきます。

教育委員会は、これを活かしていける**マネジメント能力**に富む**校長の育成・登用**を図ります。

目標3 学校を開きます

方針5 学校を開き自律・分権・地域参画型の多様な学校を目指します

学校は、その役割と説明責任を果たすために、明確な目標設定と情報公開をするとともに、学校内部にとどまらず、保護者や地域の人々等から評価を受けるシステムを確立していきます。そのため、学校は、**保護者や多様な地域人材の参画を受け入れる体制を整備**するとともに、積極的に**地域との連携を深めて**いきます。

また、学校が保護者や地域の現状を踏まえ、特色ある学校づくりを行うために、教育委員会は、学校組織や学校予算を含め、**学校の自律・分権化を推進**していきます。

目標4 家庭、そして地域の教育力を高めます

方針6 家庭・地域・学校が連携し、子どもの成長を支えます

子どもの健全な育成や学力の向上を図るためには、**子どもの基本的な生活習慣の定着が重要**であり、**家庭はその第一義的役割**を担っています。しかし、家庭での教育力は低下し、学校に求められる役割は拡大傾向にあります。

また、それを支える地域の教育力も低下してきており、様々な形で学校との積極的なかかわりが求められています。

そこで、**家庭・地域・学校がそれぞれの役割と責任を再確認**するとともに、その役割を果たすことで、子どもの成長を支えます。

目標5 教育行政は現場主義に徹します

方針7 教育行政は“現場主義”で保護者・地域の期待に応えます

自律・分権型の学校運営への改革が求められる中、教育委員会は“**現場主義**”で、より教育の現場に近いところで学校への支援・指導を行っていく体制を整備し、保護者・地域の期待に応えていきます。

「5つの目標と7つの基本的方針」と「重点的政策」の相関図

主な重点的政策と概要

目標1 子どもの力を高めます

方針1

自ら考え判断し行動できる総合的な力を育む教育を目指します

方針2

しっかり教えしっかり引き出す指導を徹底します

「横浜版学習指導要領」の策定と推進

【概要】横浜独自の教育課程の確立、小中一貫カリキュラムの実現

「市民・創造科(仮称)」による取組～「総合的な学習の時間」の再構築～

【概要】総合的な学習の時間を中心に「市民・創造科(仮称)」を創設

読解力の向上

【概要】読解力向上プランと「読解力向上指導モデル」策定、国語科の授業の充実

小中学校一貫英語教育の推進

【概要】民との協働による英語教育の推進

新たな情報教育の推進

【概要】ICTの学習環境整備、指導力向上、研修充実

子どもの実態把握と確固たるデータに基づく教育の推進

【概要】児童生徒の学力・体力の向上、横浜の教育水準向上、指導方法の改善工夫

横浜から創る新たな特別支援教育の推進

【概要】「横浜市障害児教育プラン」の推進

新たな高等学校教育の推進

【概要】新たな教育課程の検討、市内の大学等との連携などの推進

目標2 学校・教職員の力を高めます

方針3

誇りや使命感に満ちた信頼される教職員を確保・育成します

方針4

マネジメント能力の向上により学校の“チーム力”を高めます

教師力の向上

【概要】優秀な人材の確保、「よこはま教師塾」や授業改善支援センターの拡充・活用等による教職員育成

学校マネジメント力の強化

【概要】学校マネジメント研修や「よこはま学校経営塾」の創設など学校マネジメント力の強化・育成

学校版マニフェストの策定と学校評価・情報発信の推進

【概要】「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」の策定、授業評価と経営評価などの学校評価の推進

目標3 学校を開きます

方針5

学校を開き自律・分権・地域参画型の多様な学校を目指します

保護者・地域の学校運営への参画推進

【概要】学校運営協議会や地域交流室など、学校運営への参画を推進

目標4 家庭、そして地域の教育力を高めます

方針6

家庭・地域・学校が連携し、子どもの成長を支えます

教育の原点としての新たな家庭教育環境づくり

【概要】学校と家庭の果たすべき役割の再確認と、家庭教育の支援

目標5 教育行政は現場主義に徹します

方針7

教育行政は“現場主義”で保護者・地域の期待に応えます

分権型教育行政組織の再構築

【概要】「学校教育センター(仮称)」の設置の検討など、分権と連携強化による教育行政組織の再構築

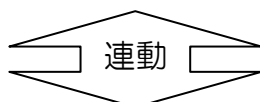
「横浜教育ビジョン」と「横浜市基本構想(長期ビジョン)」との関係

横浜教育ビジョン

これから概ね 10 年間(2015 年)を展望した、横浜の教育の目指すべき姿を描くものです。

推進プログラム

「横浜教育ビジョン」の実現に向け、平成 18 年度から平成 22 年度までの5年間の取組の工程を明らかにするものです。



○横浜市基本構想(長期ビジョン) <平成 18 年 6 月策定>

これからの概ね20年間(2025年頃)を展望して、目指すべき横浜の都市像の実現に向けた基本的な指針となるものです。

【横浜市基本構想(長期ビジョン)の抜粋】

横浜の都市像:市民力と創造力により新しい「横浜らしさ」を生み出す都市

横浜は、平和と人権の尊重を基調として、世界との窓口として歴史的に果たしてきた役割を常に認識しながら、知恵と活力を最大限に発揮し、市民が生き生きと暮らせる魅力あふれる都市であり続けます。

また、年齢や性別、障害の有無や国籍にとらわれることなく、多様な個性を尊重し、市民自らが多様な力を地域社会で発揮します。

市民の意識と行動が、これからの横浜を形づくりします。新しい「横浜らしさ」を生み出し世界に発信することで、横浜は常に新たな魅力と活力を創造し続けます。

市民力

～市民の活力と知恵の結集～

横浜の最大の活力の源は、多様で豊富な人材と、活発な市民活動です。

市民一人ひとりが広い視野と責任感を持って自発的に地域や社会活動に参画し、知恵と行動を結集することにより、生き生きと暮らせる都市の魅力と活力をつくりあげていきます。

創造力

～地域の魅力と創造性の発揮～

横浜の最大の魅力は、豊かな水・緑と歴史的建造物や先進的な都市景観に加え、多様な文化や人々を受け入れてきた開放性と進取の気風です

国内外から人や企業、国際機関などが集まり、それぞれの知恵や文化の融合により新たな魅力を創造し、世界で活躍する人をはぐくむ、躍動する創造的都市をつくりあげていきます。

○次期中期計画

長期ビジョンで示される都市像を受けて、5か年間で目指す姿や目標、それを実現するための重点的な施策・事業や改革の方向を示すものです。(平成18年12月策定予定)

これまでの教育プランとの関係

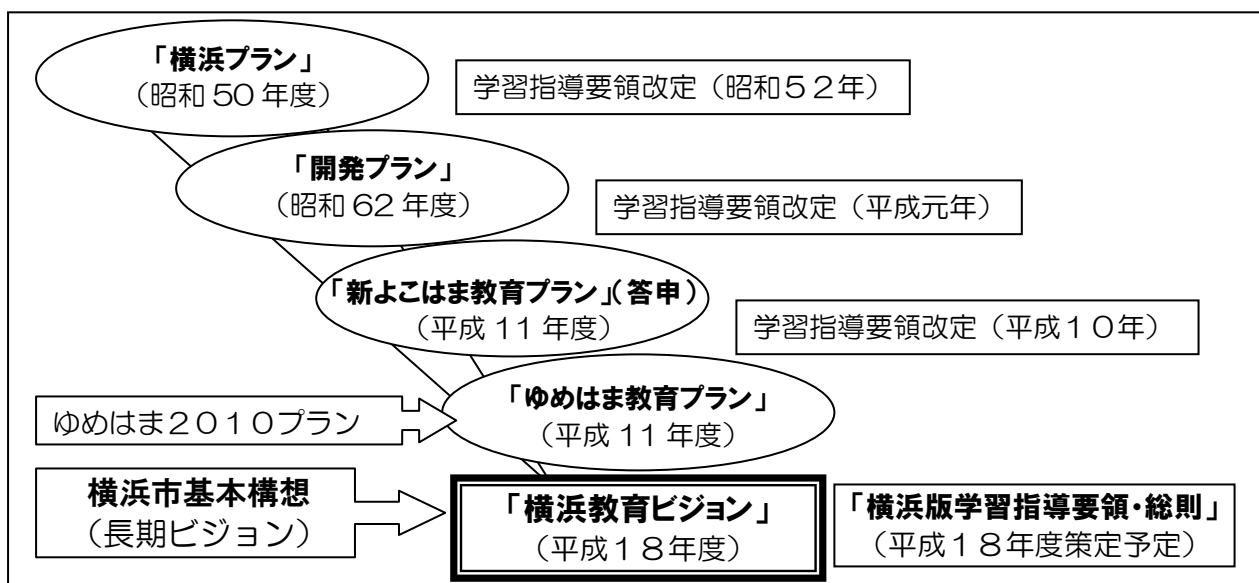
横浜市教育委員会では、国の学習指導要領の改訂に合わせて教育プランを策定してきました。

最初の教育プランである「**横浜プラン**」(昭和50年度)では、子どもを学習の主体としてとらえ直し、「自ら学ぶ力」の育成の必要性とその方法を国に先駆けて進めました。

それを受け継ぐ「**開発プラン**」(昭和62年度)では、生涯学習社会を見据え「自ら学び続ける力」として、地域連携や体験学習、オープンスペースの活用等を実現するとともに、全国に先駆けて外国人による小学校国際理解教室を設置するなど、異文化理解の学習を進めました。

この流れを受けた「**新よこはま教育プラン**」(答申)、及び同答申を行政計画として体系化した「**ゆめはま教育プラン**」(平成11年度)では、子どもが自らの力で“生き方に学ぶ”、“生き方を見つめる”、“生き方を創る”という「生き方の教育の推進」を前面に打ち出すとともに、その実現に向けた取組として『「まち」とともに歩む学校づくり」を描き、「ゆとり、活力、魅力ある学校」に向けた取組を推進しました。

現在、国全体として、教育基本法改正や学習指導要領の改訂等の様々な動きがあります。これらの国の動向や方向性を押さえながら、横浜市としての新たな教育プランの策定が求められています。「横浜教育改革会議最終答申」などを踏まえて策定された「**横浜教育ビジョン**」は、「ゆめはま教育プラン」までの流れを踏まえながらも、新しい時代の要請に応えるものとして、横浜の未来を担う「人づくり」の観点から、目指すべき横浜の教育の姿を描きました。また、その実現に向けた取組の5か年の工程表である「**推進プログラム**」、さらにはその中核となる「**横浜版学習指導要領・総則**」において、これまでの教育プランの内容を継続・拡充しながら、見直しを行い、横浜らしい教育内容を明示していきます。



「横浜教育ビジョン」冊子に掲載した作品について (敬称略)

絵画(表紙) 石川小学校(南区)3年 加藤 賢太 「とぶ教室」

横浜教育ビジョン作品コンテスト(小学生の部)最優秀賞作品

募集作品: 絵画 / テーマ「あったらいいな、こんな学校」 / 応募総数: 681点

キャッチフレーズ(裏表紙) 青葉台中学校(青葉区)3年 平岡 尚樹

横浜教育ビジョン作品コンテスト(中学生の部)最優秀賞作品

募集作品: キャッチフレーズ / テーマ「これからの教育がめざすもの」 / 応募総数: 117点

横浜教育ビジョン キャッチフレーズ

一生学ぼう 一緒に学ぼう ぼくらの横浜で



平成18年10月発行

横浜市教育委員会事務局 教育政策課

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

電話 045 (671) 3243

FAX 045 (663) 3118

横浜市広報印刷物登録 第 183029 号

類別・分類 A-ME020